

途上国における持続可能な原材料生産支援事業

【令和4年度予算概算決定額 10（－）百万円】

<対策のポイント>

わが国のカカオ豆の主な供給国であるガーナにおける**持続可能性に配慮したカカオ豆の安定供給体制の構築**のため、日本のチョコレート業界関係者や専門家を派遣し、現地サプライヤー、カカオ生産者、ガーナ政府、NGOとのワークショップを開催するとともに、現地の生産農家に対して技術講習会を行うことで、**国際認証取得支援やトレーサビリティの確立に向けた支援等**を通じ、**現地生産者の所得向上、持続可能な原材料の調達等**を目指します。

<事業目標>

- 食品企業における持続可能性に配慮した輸入カカオ豆調達の実現（2030年まで）

<事業の内容>

途上国における持続可能な原材料生産支援事業

10（－）百万円

- ① 本邦からチョコレート業界関係者や技術専門家を派遣し、現地関係者（ガーナ政府関係者、ガーナ・カカオボード、農協、生産者等）とのワークショップを現地で開催することで、日本側が求める品質やトレーサビリティ等への理解を促進させるとともに、ガーナ側の持続可能性に係る実情や要望を把握します。
- ② 日本向けにカカオ豆を生産する農家に対して、国際認証やトレーサビリティ等への理解の促進を図るための技術協力として、現地において専門家による技術講習会を実施します。

<事業イメージ>



カカオ畑



カカオ豆

<事業の流れ>

